

芸術科（美術）学習指導案

授業者 大阪府立〇〇高等学校
教諭 〇〇〇〇

- 1 日時 平成〇〇年〇月〇日（〇） 第〇～〇校時
2 場所 美術教室
3 対象 1年 美術Ⅰ選択者（17名）
4 教科・科目 美術Ⅰ
5 題材名 ステンシルで紙バッグを飾ろう！

6 題材設定の理由

1年生ではこれまでに水墨画や色彩課題、スクラッチやロウ彫刻の作品制作をしてきた。本課題では紙バッグに装飾することで、「使うもの」のデザインを考える機会としたい。自分の名前の文字を使用することで、考えることが苦手な生徒にもデザインすることを身近に感じてもらい、課題に取り組みやすくしている。また、今までに学習した色の特性を活かし、新たに構図やバランスの重要性を学びながら、新たな表現の可能性を感じてもらいたい。本課題を機に、身の回りのさまざまなもののデザインに興味を持って生活するような感性を育てたい。

7 生徒観 略

8 指導観

本課題では、文字の形態のおもしろさを発見し、また、ステンシルの型を使って繰り返すことのできるかたちの可能性も発見できるようにする。また、自分のテーマに合った色彩・構成を考えることができることをめざす。

9 題材の目標

- ①自らテーマを見つけて、試行錯誤しながら自分らしい表現方法を見つける姿勢を養う。
- ②文字の形態のおもしろさを見つけ、表現にいかす力を育む。
- ③テーマに合った色づかいや構成を考え、効果的に表現する力を伸ばす。
- ④自らの作品の意図や考えを文章にあらわし、他者の作品から表現の意図や工夫を読み取る力を身につけさせる。

10 計画 総時間数 6 時間

- 11 準備物
- | | |
|------|--|
| 《生徒》 | 筆記用具、 |
| 《教師》 | 紙袋、クリアファイル、スポンジ、アクリル絵の具セット、筆洗、
カッター、カッターマットなど |

12 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	観賞の能力
自らテーマを設定し掘り下げ、それに合った表現方法を模索し課題に取り組むことができる。	自らのテーマに合った文字の形・色・構図を考えて構成することができる。	デザインした文字を正確にうつし、カッターで切り取ることができる。また、ステンシルの技法を効果的につかうことができる。	自らの作品の意図を文章で伝えることができ、他者の作品から表現の工夫やよさを感じることができる。

13 本題材の学習指導計画 (6 時間)

第 1 次 (1 時間) 色彩の効果・構成について学ぶ、ステンシルの練習

第 2 次 (2 時間) 文字の選択と形を考える、構成を考える、ステンシルの型をつくる

第 3 次 (3 時間) 本制作

時間	ねらい・学習内容及び活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
第 1 次 (1h)	課題について理解する ・授業の進め方、題材の目標、評価の規準を理解する 色彩の効果・構成について学ぶ ・テーマに沿った色使いを復習する ・構成の違いでイメージが変わることを理解する ステンシルの練習 ・文字や数字をクリアファイルに写しカッターで切り抜いて型をつくる練習をする ・練習課題をする	課題内容の説明 ・課題の概要説明 色彩と構成について説明する ・色の効果や特性について説明する ・同じ文字や色を使っている、構成の違いでイメージが変わることを説明する ステンシルの説明 ・版画技法の説明 ・型をつくる作業の流れを説明 ・型をつかうことでできる表現の効果を理解させる	◎ 本課題に興味関心を持ち、作品制作に取り組む意欲がみられる 【観察】 ▲ 色の特性や構成によるイメージの違いを理解することができる 【観察】 ◆ カッターなどの道具を正しく扱い丁寧に作業することができる 【観察】 ▲ 作業の流れを理解することができる 【観察】
第 2 次 (2h)	テーマに合った構想を考える ・「自分」というテーマから作品の構想を練る ・テーマに合った色彩・構成・文字の形を決めて完成イメージの下絵を描く ステンシルの型をつくる ・練習どおりの作業をする	構成を考えるよう指導する ・各自のテーマを明確にして何を表現したいのかを確認する ・構図や色彩によって画面の印象が変わる事を説明する ・テーマに沿った文字の形・構成はどのようなものか考えさせる ステンシルの型制作の指導をする ・型をつくる作業の流れを再度説明する ・何度も使用するものなので丁寧に作るよう指示 ・切り抜き方に注意するよう説明する	▲ 作品のテーマを決めるために自身の考えを深めることができる 【観察】 ▲ 自己のテーマに沿って構成を試行錯誤することができる 【エスキース】 ▲ オリジナルの文字をかんがえることができる 【作品】 ◆ 練習課題を完成することができる 【作品】
第 3 次 (3h)	本制作 ・エスキースをもとに制作する ・色や構成に配慮しながら制作をすすめる ・テーマに合った作品になるよう繰り返し確認しながら完成させる 振り返り『自己評価シート』の記入 ・作品の見どころ、工夫した点などを記入し、自己評価を行う ・課題の中で得た技術などを再確認する ・他者の作品を鑑賞し、よさや工夫を見つけ今後の表現活動に活かす	作品制作の進め方を理解させる ・表現したいことは何か確認しながらすすめるよう指示する ・道具を使い分け、描きたいものをしっかり描き込むよう促す 自己評価シートを記入するよう指示する ・自身の作品を振り返り文章にすることで、作品のよさを他者に伝える力を養わせる ・課題の中で身に付いた技術などを認識させることで、今後の自己表現へ生かすよう伝える ・他者の作品から表現の工夫をみつけるように指導する	◎ 自己のテーマを掘り下げ、絵画制作へ興味・関心を持って取り組んでいる 【観察】 ◆ 型やスポンジなどの道具を正しい扱い方を理解し自己表現にいかすことができる 【観察・作品】 ◆ 色彩や構成を計画的におこなない制作へいかしている 【観察・作品】 ◆ 構図のバランスを見ながら全体に手を加えることができる 【観察・作品】 ★ 自己の作品の良さや反省点に気づき、文章であらわすことができる 【鑑賞レポート】

◎は《美術への関心・意欲・態度》▲は《発想や構想の能力》◆は《創造的な技能》★は《鑑賞の能力》を表す

14 本時の学習指導計画（6時間の中の5，6時間目）

《本時の目標》

- 1 完成イメージをもとに制作をすすめ完成させる
- 2 自己評価シートを記入する

時間	ねらい・学習内容及び活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 3分	・挨拶 本時の説明を聞く ・本時の活動内容を把握する	本時の授業の流れを説明する ・授業の流れを黒板を使って説明する ・本時の目標を認識するよう促す	
展開① (準備) 7分	制作の準備をする ・作業しやすいように絵の具やカッターなど道具類を準備する	制作環境を整える ・道具や絵の具類を教卓に並べ制作環境を整える	
展開② (制作) 80分	制作 ・完成イメージをもとに制作をすすめる ・必要に応じてステんシルの型を増やす 振り返り『自己評価シートの記入』 ・作品の見どころ、工夫した点などを記入し、自己評価を行う	制作のすすめかたを理解するよう指導する ・各自のテーマをしっかりと認識するよう説明する ・色彩計画を確認するよう指示する ・型は繰り返し使うものなので、丁寧に使うよう指導する ・カッターを使用するときはカッターマットを必ず使うよう指示する ・全体と細部の両方を意識するよう指導する 自己評価シートを記入するよう指示する ・自身の作品を振り返り文章にすることで、作品のよさを他者に伝える力を養わせる	《美術への関心・意欲・態度》 制作へ興味・関心を持って取り組んでいる 【観察】 《創造的な技能》 テーマに合った色彩や構図を考え、表現に工夫がみられる 【観察・作品】 《鑑賞の能力》 自己の作品のよさや反省点に気づき、文章であらわすことができる 【鑑賞レポート】
片づけ 10分	片づけ ・作品を指定の場所へ保管する ・使った画材・道具を片づける ・机の上を雑巾がけする ・教室を整える ・次回の連絡を聞く ・挨拶	片づけ ・机や椅子・床を清掃し、教室をきれいに使用する意識を持たせる ・次回の連絡をする	